報　告　書

平成２２年３月定例会における議会報告会				
開催日時	平成 ２２年５月１８日（火） PM７時００分 ～ PM８時１０分			
開催場所	北小松島公民館			
出席議員	出口議長　高木副議長	佐野予算決算常任委員長		天羽総務産建常任委員長
	安平議会改革特別委員長	池渕委員		立川議会運営委員長
	司会者	石原　正裕	記録・報告者	北野　恒男
	設営・運営者	井村　保裕		
参加人数	７　名			
主な要望・提言等	◇議会改善度、全国で４位について、敬意を表したい。できれば１番に、１位との違いは。 出口議長　１位、京丹後市97.9ポイント、小松島市89.4ポイント、住民参加度、公開度等についての説明。 ◇議員定数削減の手続きについて。任期途中でやめれば、それだけ減らしたらどうか。 出口議長　条例改正が必要。基本条例で市民の意見を聞くとうたわれており、できるだけ早い時期にしたい。市民の声は少ない方がよいという意見が多い、６月議会で議員提案し、審議する。選挙後の４年間の実績、活動を市民が評価していただければありがたい、議会、委員会の傍聴に来てほしい。 ◇集中改革プランについて、議会として全国的にユニークなプランは。 出口議長　集中改革プランは行政が作成したものである。議会としては議会改革として事務事業評価を国に先がけて実施している。 ◇生活保護の状況について　どのような人が受けているか、他市との比較は、小松島は増えているのか。 北野議員　保護世帯は540世帯、高齢世帯が230世帯、母子世帯が38世帯、生涯疾病世帯が241世帯、その他の世帯が31世帯受けている。県内では鳴門市の保護率は低いが、徳島市、小松島市の保護率は高い。最近の保護の状況は、雇用情勢の悪化等により、増加の傾向にある。			

小松島市議会議長　様

平成22年5月19日

議会報告会実施要綱第１０条第１項の規定により提出します。

石原　正裕　　印

井村　保裕　　印

北野　恒男　　印